

X-TOUCH

Universal Control Surface with 9 Touch-Sensitive Motor Faders, LCD Scribble Strips and Ethernet/USB/MIDI Interface

JP

JP 安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使用してください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついてます。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電気技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。

12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。



14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カート

を使用しての運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたしません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本装置は 45℃ 以下の温帯気候でご使用ください。

法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas、Klark Teknik、Lab Gruppen、Lake、Tannoy、Turbosound、TC Electronic、TC Helicon、Behringer、Bugera、Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2023 無断転用禁止。

限定保証

適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 community.musictribe.com/pages/support#warranty にて詳細をご確認ください。

X-TOUCH コントロール

JP

ステップ 2: コントロール

オペレーション・モード

X-TOUCH は、互換性のあるすべての音楽制作ソフトウェアとシームレスに統合するための HUI および MC 通信プロトコルをサポートしています。他のモードは、将来のファームウェアアップデートで利用できるようになります。モードを変更する手順は、「はじめに」セクションに示されています。

- ① **Push encoder knobs** – これらの 8 つのエンドレスエンコーダーには、それぞれ戻り止めとプッシュ機能 (点灯なし)、および 13 セグメントの黄色の LED リングがあります。これらは通常、デジタルオーディオワークステーション (DAW) アプリケーションで、チャンネル 1~8 の Aux センドやパンコントロールなどのパラメーターを微調整するために使用されます。マスターセクションのエンコーダー割り当てボタンを使用して、エンコーダーが制御するものを選択します。

- ② **Scribble strips** – これらの 8 つの LCD ディスプレイは、DAW ソフトウェアに表示されるさまざまなパラメーターとラベルを示します。また、エンコーダで調整できるユニットのさまざまな設定や調整を表示するためにも使用されます。

- ③ **Channel buttons** – チャンネルごとにこれらの 4 つのボタンは、個々の DAW ミキサーチャンネルアプリケーションに使用されます。

Rec – 録音用にチャンネルを準備します。

Solo – ミックス内のチャンネルを分離します。ディスプレイのソロ LED は、ミックス内で 1 つ以上のチャンネルがソロになると点灯します。

Mute – チャンネルをミュートします。

Select – これは編集するチャンネルを選択します。ミキサーコントロールは、選択したチャンネルの設定専用で、詳細は各落書きストリップに表示されます。

- ④ **Channel meters** – これらの 8 個の LED メーターは、各チャンネルの信号レベルを表示し、信号が存在する場合とクリッピングしている場合を示します。

- ⑤ **Faders** – これらのタッチセンシティブな電動 100 mm フェーダーは、通常、DAW アプリケーションのレベル機能を細かく制御するために使用されます。右側に 8 つのチャンネルフェーダーと 1 つのマスターフェーダーがあります。マスターフェーダーの上の FLIP ボタンは、パラメーターのより細かい制御が必要なエンコーダー制御とフェーダー制御を切り替えます。

マスターセクション

ボタンの正確な機能は、DAW ごとに大きく異なります。外部コントロールサーフェスでの動作に関する DAW のドキュメントを読むことをお勧めします。とりわけ、キーボードショートカット、ユーティリティ、および自動化の代わりとなるボタンがあります。以下の詳細は、このセクションのより一般的な機能のいくつかを示しています。

- ⑥ **Encoder Assign** – これらの 6 つのボタンは、エンコーダーの機能を選択するために使用されます。それらの正確な機能は DAW によって異なりますが、トラックレベル、パン、EQ、Aux センド、インサートエフェクトプラグインなどが含まれる場合があります。

- ⑦ **Display** – 表示は、時間、分、秒、フレームの SMPTE タイムコード、または BBT バー、ビート、ティックの間で切り替えることができます。LED は、SMPTE または Beats の選択を示します。

- ⑧ **Transport buttons** – 下の 5 つのボタンには、DAW トランスポートアプリケーション (巻き戻し、早送り、停止、再生、録音) で使用されるおなじみのマーキングがあります。

- ⑨ **Fader Bank and Channel** – 左または右のバンクボタンは、一度に 8 チャンネルずつチャンネルを上下に移動します。チャンネルボタンは、チャンネルを 1 ステップで上下に移動します。

- ⑩ **Jog/Shuttle** – ホイールは DAW のオーディオを編集するために使用されます。SCRUB ボタンを押して、ホイールをジョグとシャトルの間で切り替えます。

- ⑪ **Navigation buttons** – これらを使用すると、上下および左右に移動したり、DAW 画面内でズームしたりできます。

後面パネル

- ⑫ **AC IN** – 付属の AC 電源コードをここにしっかりと接続します。コードのもう一方の端をローカル AC 電源に接続します。安全接地を破らないでください。

- ⑬ **Power switch** – 押してユニットをオンにし、押してオフにします。すべての接続が完了するまで、オンにしないでください。

- ⑭ **REMOTE** – このポートは、RTP MIDI をサポートする DAW、またはリモート制御の Behringer デジタルミキサーシリーズ (将来の実装) に接続するためのイーサネットインターフェイスです。

- ⑮ **USB HUB** – これらの 2 つの USB タイプ A コネクタは、USB マウス、キーボード、X-TOUCH MINI などの USB MIDI コントローラ、および USB MIDI キーボードなどの外部 USB ハードウェアを接続するために使用されます。ハブは、X-TOUCH ではなく、コンピュータと直接通信します。各コネクタは 5 V USB 電源を供給できます。ハブは、X-TOUCH の電源がオンになっている状態で、USB MIDI コネクタを介してライブコンピュータに接続されている場合にのみアクティブになります。

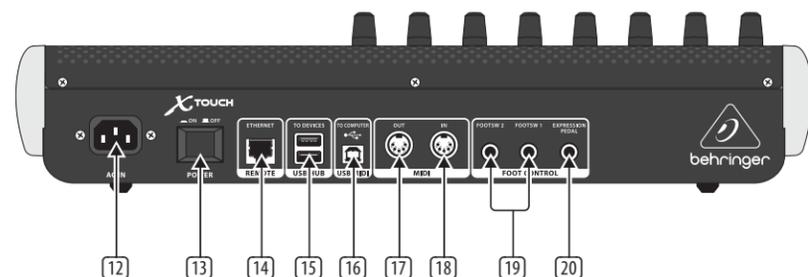
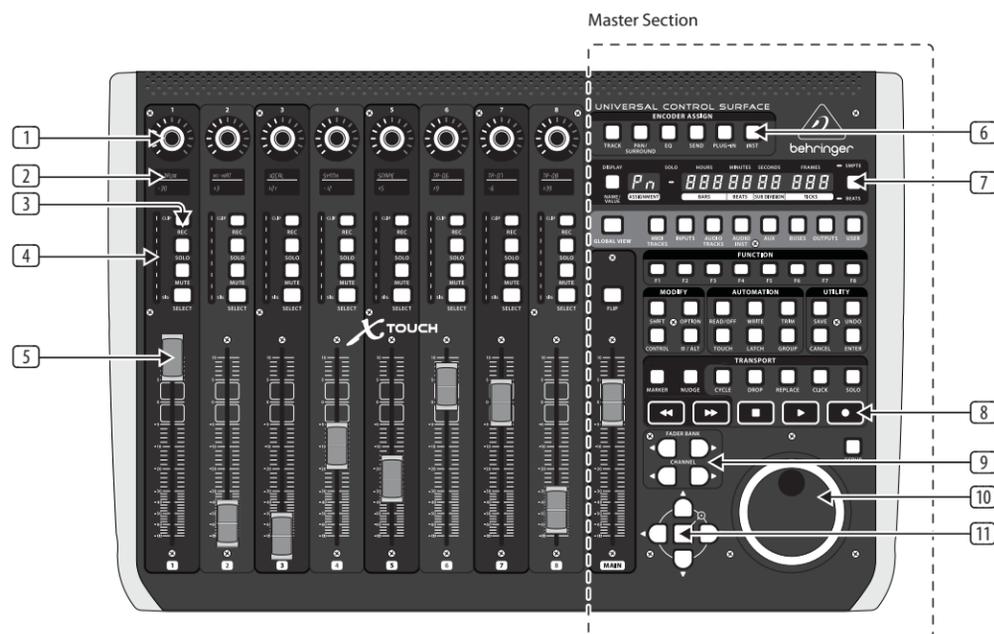
- ⑯ **USB MIDI** – この USB タイプ B コネクタは、MIDI データ転送 (送信/受信) および USB ハブ通信のためにコンピュータの USB ポートに接続するために使用されます。

- ⑰ **MIDI OUT** – この 5 ピン DIN コネクタは、MIDI データを外部 MIDI デバイスの MIDI IN に送信します。

- ⑱ **MIDI IN** – この 5 ピン DIN コネクタは、外部 MIDI デバイスの MIDI OUT から MIDI データを受信します。

- ⑲ **Foot Control Foot Switch 1 and 2** – これらの 1/4" コネクタは、瞬間的またはトグル MIDI データ制御用の標準サステインペダルに使用されます。

- ⑳ **Foot Control Expression Pedal** – この 1/4" コネクタは、継続的な MIDI データ制御用の標準的なスウェルペダルに使用されます。



X-TOUCH はじめに

ステップ 3: はじめに

概要

このスタートガイドは、X-TOUCH のセットアップと、その機能の簡単な紹介に役立ちます。X-TOUCH を使用すると、高品質のコントローラーの正確なタッチアンドフィールでソフトウェア DAW を制御できます。92 個の便利なイルミネーションボタン、8 個のロータリープッシュエンコーダー、9 個のタッチセンシティブモーター付き 100 mm フェーダーを備え、HUI または MC モードでさまざまな DAW を操作できます。将来の実装では、Behringer デジタルミキサーシリーズの制御が可能になります。

ソフトウェアのセットアップ

X-TOUCH は USB クラス準拠の MIDI デバイスであるため、ドライバーをインストールする必要はありません。

設定メニュー

チャンネル 1 の SELECT ボタンを押したまま、ユニットの電源スイッチをオンにして、X-TOUCH 設定メニューに入ります。

エンコーダー1を回転させて、エミュレーションモードを HUI、MC、またはその他の (将来の) モード間で変更します。

エンコーダー2を回転させて、USB、MIDI、またはネットワークからインターフェースを選択します。必要に応じて、エンコーダー 3~7 を使用してネットワークの詳細を設定します。

エンコーダー8を回転させて、ディスプレイのコントラストを 0~100% に調整します。

チャンネル1の SELECT ボタンをもう一度押して設定を保存し、選択したエミュレーションを開始します。

ハードウェアのセットアップ

セットアップは、選択した X-TOUCH インターフェイス、USB、MIDI、またはネットワークによって異なります。

USB: 付属の USB ケーブルを使用して、X-TOUCH をコンピューターの使用可能な USB ポートに直接接続します。

MIDI: X-TOUCH MIDI IN および OUT ポートをコンピューターの外部 MIDI インターフェースの MIDI OUT および IN ポートに接続します。

ネットワーク: すべての IP、マスク、およびその他の設定が行われた後、そのリモートイーサネットポートをネットワークに接続します。

システム内の他のすべての接続を確立します。

X-TOUCH に AC 電源を投入し、電源スイッチをオンにします。

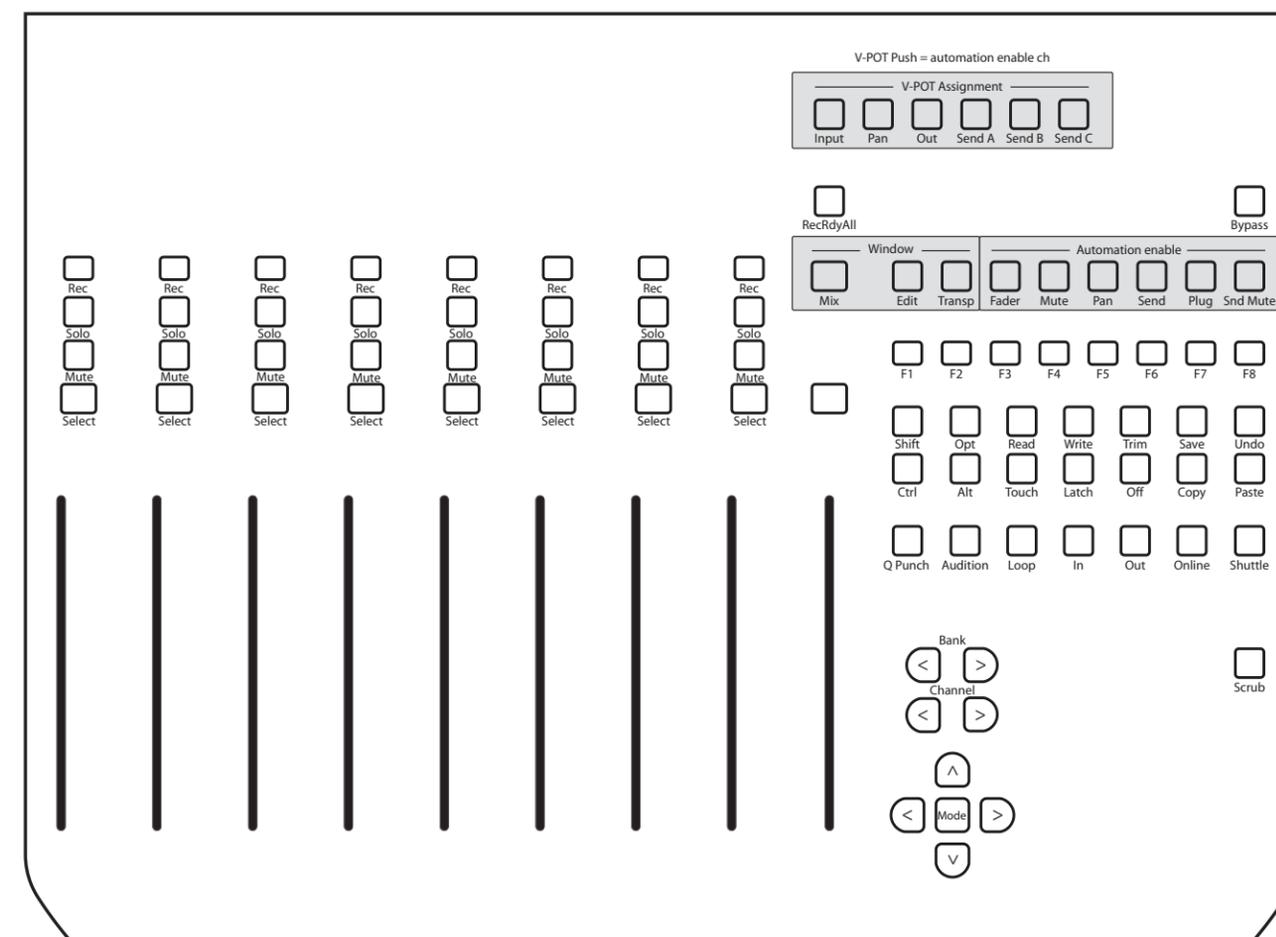
ネットワークインターフェースを使用している場合は、ネットワークで X-TOUCH を検索します。

DAW ソフトウェアで、MIDI コントローラーとして X-TOUCH を選択してお楽しみください。

X-TOUCH は、ネットワーク接続を介して RTP MIDI デバイスとして使用できます。これは、長い USB ケーブルまたは MIDI ケーブルが必要になるシステムで役立ちます。

次の手順は、RTP MIDI 操作の X-TOUCH の一般的な準備と、OS X* ネットワークおよび Windows* ネットワークで使用するための詳細を示しています。

X-TOUCH HUI エミュレーションマップ



RTP MIDI 操作のための X-TOUCH の準備

X-TOUCH は、ネットワーク接続を介して RTP MIDI デバイスとして使用できます。これは、長い USB ケーブルまたは MIDI ケーブルが必要になるシステムで役立ちます。

次の手順は、RTP MIDI 操作用の X-TOUCH の一般的な準備と、OS X *ネットワークおよび Windows* ネットワークで使用するための詳細を示しています。

RTP MIDI 操作のための X-TOUCH の準備

- X-TOUCH で、電源投入時に CH1 の SELECT ボタンを押したままにして、設定メニューに入ります。スクリブルストリップディスプレイのテキストを観察します。
- 番目のエンコーダーを回してネットワークを選択します。
- 番目のエンコーダーでは、MODE または DHCP のいずれかを選択できます。
 - MODE は、X-TOUCH を RTP スレーブとして使用するか RTP マスターとして使用するかを選択します。SLAVE モードでは、X-TOUCH の IP アドレスをコンピューターの RTP MIDI 設定に入力する必要があります。MASTER モードでは、3 番目のエンコーダーを右に1ティック回して、コンピューターの IP アドレスを入力し、エンコーダー 4~7 を使用して、アドレスを構成する3桁のセットを入力できます。ポート 5004 は RTP MIDI の標準ポートであるため、どちらの場合も使用できます。
 - DHCP は ON または OFF に設定できません。DHCP が ON に設定されている場合、X-TOUCH は接続されたネットワーク内で DHCP サーバーから IP アドレスを自動的に取得します。DHCP が OFF に設定されている場合、IP、サブネットマスク、およびゲートウェイは、3 番目のエンコーダーを右に回し、次のページにアクセスして手動で入力する必要があります。IP、マスク、および Gway。エンコーダー 4~7 を使用して IP アドレスを入力できます。
- CH1 の SELECT ボタンをもう一度押し、X-TOUCH セットアップを終了します。ディスプレイに次のように表示されます。IP:000.000.000.000 待機...
- DHCP が使用されている場合、IP は、ネットワーク内の実際の IP (たとえば、IP:010.100.001.029) を表示する前に、最初に内部 IP に切り替わります。X-TOUCH のときがネットワーク経由でコンピュータに接続されている場合、待機メッセージは消えます。

X-TOUCH を OS X 内の RTP MIDI デバイスとして使用する

OS X システムの場合、RTP MIDI 操作に外部ドライバーは必要ありません。

奴隷

- コンピューターと X-TOUCH が同じネットワーク内にあることを確認してください。
- コンピューターで AUDIO / MIDI-Settings を開きます。
- MIDI スタジオ / MIDI デバイスウィンドウを開きます。
- 「ネットワーク」をダブルクリックします。
- [ディレクトリ] フィールドの下にある [+] をクリックして、デバイスを追加します。名前、X-TOUCH の IP、およびポート (5004) を挿入します。
- 「マイセッション」フィールドの下にある「+」を押してセッションを作成し、作成したセッションをアクティブにします。
- X-TOUCH をアクティブにして、「接続」をクリックします。
- X-TOUCH が RTP MIDI コントローラーとして利用できるようになりました。DAW のプリファレンスを開き、コントロールサーフェスとして追加します。ほとんどの DAW 内では、自動的に検出されます。

主人

- コンピューターと X-TOUCH が同じネットワーク内にあることを確認してください。
- コンピューターで AUDIO / MIDI-Settings を開きます。
- MIDI スタジオ / MIDI デバイスウィンドウを開きます。
- 「ネットワーク」をダブルクリックします。
- 「マイセッション」フィールドの下にある「+」を押してセッションを作成し、作成したセッションをアクティブにします。
- 「誰が私に接続できるか」については、「誰でも」を選択します。X-TOUCH はセッションの参加者として表示されます。
- X-TOUCH が RTP MIDI コントローラーとして利用できるようになりました。DAW のプリファレンスを開き、コントロールサーフェスとして追加します。ほとんどの DAW 内では、自動的に検出されます。

X-TOUCH を Windows で RTP MIDI デバイスとして使用する

Windows システムでは、RTP MIDI 用にサードパーティの外部ドライバーを使用する必要があります。たとえば、インターネットで「rtp MIDI」を検索してから、ダウンロードしてコンピュータにインストールします。

奴隷

- コンピューターと X-TOUCH が同じネットワーク内にあることを確認してください。
- rtp MIDI ドライバーを開きます。
- [ディレクトリ] フィールドの下にある [+] をクリックして、デバイスを追加します。名前、X-TOUCH のポートアドレス (例: 10.100.1.29:5004) を含む IP を挿入します。
- 「マイセッション」フィールドの下にある「+」を押してセッションを作成し、作成したセッションをアクティブにします。
- X-TOUCH をアクティブにして、「接続」をクリックします。
- X-TOUCH が RTP MIDI コントローラーとして利用できるようになりました。DAW のプリファレンスを開き、コントロールサーフェスとして追加します。

主人

- コンピューターと X-TOUCH が同じネットワーク内にあることを確認してください。
- rtp MIDI ドライバーを開きます。
- 「マイセッション」フィールドの下にある「+」を押してセッションを作成し、作成したセッションをアクティブにします。
- 「誰が私に接続できるか」については、「誰でも」を選択します。X-TOUCH はセッションの参加者として表示されます。
- X-TOUCH が RTP MIDI コントローラーとして利用できるようになりました。DAW のプリファレンスを開き、コントロールサーフェスとして追加します。

技術仕様

コントロール	
LED カラー付きロータリー / プッシュコントロール	8
LED バックライト付きボタン	92
フェーダー	9 つの電動フェーダー、100 mm、タッチセンシティブ
ホイール	1 ジョグ/シャトル
フットコントロール (表現)	1/4" TS
フットスイッチ (サステイン)	1/4" TS x 2
表示	
時間	7 セグメント LED x 10
チャンネル割り当て	7 セグメント LED x 2
チャンネルレベル	SIG および CLIP を備えた 8 セグメント LED
チャンネル表示	カラー LCD 落書きストリップ x 8
ミディ	
入力	5 ピン DIN
出力	5 ピン DIN
コンピューター接続	
USB	USB 2.0、タイプ B
イーサネット	RJ45
USB ハブ	
タイプ	マルチ TT USB 2.0
コネクタ (x2)	USB 2.0、タイプ A
電圧 (外部デバイスへの USB 電源)	5 V
電源	
タイプ	内部スイッチモード電源
電圧	100~240 VAC、50/60 Hz
ヒューズ	T 1A H 250 V
消費電力	30 W
主電源接続	標準 IEC レセプタクル
物理的	
標準動作温度範囲	5°C から 45°C (41°F から 113°F)
寸法 (H x W x D)	100 x 452 x 301 mm (3.9 x 17.8 x 11.9")
重量	4.3 kg (9.4 lbs)

* OS X は Apple Inc. の商標です。

* Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

- 1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:**
ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230 V と 120 V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。
- 2. 故障:** Music Tribe ディーラーがお客様のお近くにはないときは、musictribe.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。
- 3. 電源接続:** 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

We Hear You